

令和5年度第2回静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会会議録

- 1 日 時 令和6年3月6日（水） 19時15分～20時30分
- 2 場 所 静岡市役所 9階 特別会議室
- 3 出席者 (委 員) 宗会長、坂ノ上副会長、飯塚委員、池ヶ谷委員、
下村委員、齋藤委員、高橋委員、不破委員、
宮城委員、望月信吾委員、望月千夏委員、
森藤委員
※内4名：WEB参加、8名：会場参加
(事務局) 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
酒井次長、森川次長補佐兼係長、石川係長、
佐藤副主幹、草谷主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
 - (1) 静岡市認知症初期集中支援チーム活動の様式の見直し（様式の変更内容）について
 - (2) 様式変更後の「支援対象ケース」把握状況について
 - (3) 認知症初期集中支援チーム活動にかかる研修実施報告
- 6 会議内容
 - 開会 資料の確認、WEB参加者のZOOM設定確認
 - 市挨拶 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部次長 酒井
 - 会長挨拶 宗会長
 - 会議成立 会議成立の報告（委員12名中12名の出席により会議は成立）

宗会長

議題（1）静岡市認知症初期集中支援チーム活動の様式の見直し（様式の変更内容）について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

<資料1、参考資料1、参考資料2により説明>

宗会長

ただいまの説明について、ご意見やご質問等がありましたらお願いいたします。

宗会長

ご意見等ないようですので、次の議題に移ります。

議題（２）様式変更後の「支援対象ケース」把握状況について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

<資料２により説明>

宗会長

ただいまの説明について、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

坂ノ上副会長

様式の保存期間の取り扱いは決められていますか。

事務局

マニュアルには保存期間までは明記していませんが、通常の行政の資料の保存期間は５年間の保存を基準としておりますので、その年数を想定しています。

坂ノ上副会長

マニュアルを作成したのに、様式を知らない地域包括支援センターがあるのは、どうしてでしょうか。

事務局

市としては、丁寧に情報発信をしていたと思うのですが、全体を集めて、同時に説明する機会が持てないというところが大きな理由かもしれません。

坂ノ上副会長

様式を知らない包括がいるということは、マニュアルを作成する意味がないと思います。全体に周知するために説明の場を設けたり、マニュアル

も相談があったらまず様式1を作成することから始まり、その後の流れについても分かりやすくした方がいいと思います。

私も、書類を作成するときに様式をダウンロードすることがありますが、入力のしやすさが重要になります。

例えば包括チームに全て一括してファイルを送って、実施してもらう方がやりやすいと思いますし、紙資料で送っただけだと、書類を書くのは手間になると思いますので、運用がどのようになっているのか、教えてください。

事務局

市からの資料の送付と、包括チームからの報告の提出は、電子データでのやりとりをしております。

坂ノ上副会長

資料の保存も電子データでいいということでしょうか。

事務局

その通りです。

坂ノ上副会長

あとは細かなところですが、様式にチェックを入れる箇所が多いのですが、クリックすればチェックが入るのか、どのようになっていますか。

事務局

クリックすればチェックが入るといような作りにはなっておりませんので、工夫の余地はあると思います。

飯塚委員

資料の2(1)に「チーム活動の実施には手間がかかるという印象」とありますが、どのような手間なのでしょう。

事務局

書類の作成の負担軽減を図るために様式の変更等を進めたのですが、それでも負担があるという印象が拭えないということと、対象者に同意を取るといふ点で、負担感が大きいと聞いています。

飯塚委員

どのような人から同意が取れないのでしょうか。

事務局

同意書は様式6になりますが、この事業における個人情報の使用の同意書で、書類に「認知症」と表記されており、対象者が「自分は認知症ではない」と拒否的になる可能性があり、同意を取りにくいそうです。

飯塚委員

同意書に認知症と表記されていて、それを見て拒否が生じるかもしれないということですね。

宗会長

その他、ご意見ありますか。

齋藤委員

様式1の訪問支援対象者チェックシートについてですが、名古屋の様式を参考にしたそうですが、静岡で新たに追加や削除した項目がありましたら、教えてください。

事務局

名古屋のものをベースに一つ一つ確認をして最終的に、追加や削除した項目はありませんでした。

齋藤委員

アンケートの結果で、ほとんどの方が対象外になったというところが気になりました。

このチェックシートは基本的には認知症の相談のあった方全員に活用するという認識でよいでしょうか。

事務局

その通りです。

齋藤委員

もし、今後再度内容の見直しをするようであれば、矢印の向いている4が「いいえ」になると、一番下の9のところに矢印が向いていますが、4

の矢印が5・6・7・8のところに向けば、適切なサービスに結びついていないところで対象に含まれる方がいるのではないのかと思いました。

静岡版でこの5・6・7・8と4と重複している項目もありますし、見直しされると、本当に初期集中支援チームの対象になりうる方の抽出に役立つシートになるのではないかと思います。

宗会長

それでは次の議題に移ります。議題（3）認知症初期集中支援チーム活動にかかる研修実施報告について、事務局より説明をお願いします。

事務局

<資料3により説明>

宗会長

ただいまの説明について、ご意見等ありますでしょうか。

坂ノ上副会長

名古屋市の取り組みを参考にしたのは、地域包括支援センターにチームを配置しているということが一つの理由ということでしたが、前々回の資料の、政令指定都市の初期集中支援チームの件数で、名古屋市はどのくらいの件数でしたか。

その時の検討で、静岡市の件数が少なく、改善していく方向になったと思うのですが。

事務局

前々回の資料が今手元にないのですが、昨年11月の研修の中で、名古屋市の令和4年度の支援件数は400件ぐらいと説明がありました。ただ名古屋市も、件数が徐々に減少しており、全国的な流れも同様に減少傾向にあるようです。

宗会長

本日予定した事項は以上ですけれども、全体を通してご意見やご質問はありますか。

望月 信吾委員

認知症初期集中支援チーム検討委員会の委員として2期参加させていただいておりますが、活動件数が少ないというのはずっと続いている状況だと思います。

名古屋市の件数が400件と伺いまして、件数が多ければいいというものではないと思うのですが、事業を実施している上ではある程度件数がなければいけないと思います。そして、対応ケースが上がってこなければ検討委員会の意味もなくなってしまいますので、そこを考えて行かなくてはいけないと思いました。

今回様式を変更し、事務も軽減されたということですが、まだチーム活動のことを知らない包括や、馴染みが少ない包括があるということをお知らせを受けていますので、チーム活動を経験してもらおうということが重要なことだと思いました。

例えば、来年度から各区1包括ずつでも毎年ケースを出し、チーム活動を経験してもらおうという方法がとればよいと思いました。

事業継続のためにケースを上げるということではありませんが、認知症の困難ケースに対して、どのような仕組みがあれば支援がしやすいかという視点に立ちながら、意見を上げていただけたらと思います。包括に負担を強いる面もあるかもしれませんが、この事業を活用できるようにいろいろなケースを挙げてもらう中で、課題を見出し、いい事業にしていけたらと思いますので、積極的に活動してもらえたらと思いました。

宗会長

確かにその通りだと思います。件数が少ないということが課題になっているので、順番に包括チームにやってもらおうというのは良い方法だと思います。

加えて、難しいケースを支援するだけでなく、支援の見通しを持ちやすいケースの支援にチームを使うことにより、こんなこともできるのだということを知ってもらえれば、いいと思います。

チームの活動は必要だと思いますので、各包括にチームが配置された令和2年度以降に活動がないチームに順番にやってもらおうようにすればいいと思います。経験してみると「やらなければよかった」という結果には、ならず、有効だと思うのですが事務局の意見はどうですか。

事務局

認知症初期集中支援チームで活動することについて、実態がないまま、ハードルが上がってしまっているという印象があります。

また、チームの活動内容がわからない中で、事務の負担が大きいというイメージだけが、先行しているようにも思われます。

取り組みやすいものや、対応に困っているケースを、チームで支援することで、少し動きが出てきたというようなことを体験してもらえようになればいいと考えておりますので、良い提案をいただきました。

宗会長

ありがとうございます。私は賛成です。やってみる価値が非常にあるように思います。

ズーム参加の下村委員、ご意見をお願いします。

下村委員

委員の交代があり初めて検討委員会に参加させていただいております。皆さんの意見を聞かせていただいて、勉強させていただければと思っております。

宗会長

ズーム参加の森藤委員、ご意見お願いします。

森藤委員

支援対象者チェックシートのチェック項目と総合相談記録の参考様式1で、リンクする内容があり、総合相談でもかぶるところがありますので、チェックシートと合わせて総合相談記録のところから、認知症の困難事例だと思ったら、このシートの中からも、支援対象者と判断できるように、記載があるといいと思いました。

今ある様式を活用しながら、漏れないような運用ができたらいいと感じました。

宗会長

ありがとうございますいい提案だと思います。事務局はどうでしょうか。

事務局

取り入れやすい部分だと思いましたので、参考様式1についてのご提案を進めたいと思います。

宗会長

その他、ご意見等がありますか。

高橋委員

皆さんの意見を聞いて、最もだと思ふところがたくさんありました。

資料を見て感じたことは、市が新しいものを作っても、包括チームにあまり反応がみられないような印象を受けました。

市が示した様式が使いにくいものであるなら、包括チームで様式等について、市へ提案するなどして、包括チームの活動が増えていけばいいと思います。

また、認知症で困っている方が多いと思いますが、包括支援センターに1件も認知症の相談がなかった包括があったという結果には、少し疑問が残ります。

事務局

包括チームから書類が多いから活動しにくい、対象がわかりにくいから始められない等、いろいろな意見が出ております。

しかし、今用意されているマニュアルや様式を用いてチーム活動を経験してもらうことで、改善に向けた意見が出るなど検討が活発になると思うので、とにかくまずは経験をしてもらい、このマニュアルと様式が完成ではなくて、随時見直しをされていくものとして、もっと改善できるような意見がもらえるように進めていきたいと思っています。

宗会長

行政のマニュアルや様式を大きく変えることは基本的に難しいと思いますが、そういった中で、今回の会議ではいい方向に変わってきていると思います。

他にご意見がないようでしたら、本日の委員会を終了させていただきます。

■会議録確認署名

「令和5年度第2回静岡市認知症初期集中
支援チーム検討委員会 会議録」について、
内容を確認しました。

静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会 会長

氏名(署名) 宗 朝之